

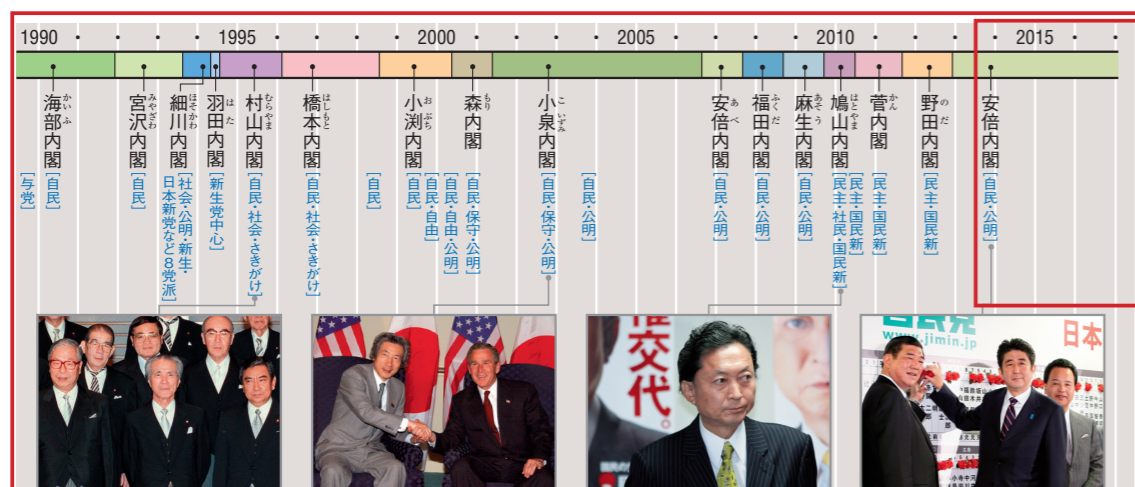
訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
前見返し	地図		
10	右段 2～6	221万人(2008年)と増加させた。 <u>2015(平成27)年</u> 現在, 外国人登録者の国籍は, 中国, <u>韓国・朝鮮</u> , フィリピン, ブラジル, <u>ベトナム</u> , ネパールの順で多く, この10年間では, 中国人と <u>フィリピン人</u> の増加がめざましい。	221万人(2008年)と増加させた。 <u>2017(平成29)年</u> 現在, 外国人登録者の国籍は, 中国, <u>韓国</u> , <u>ベトナム</u> , フィリピン, ブラジル, ネパールの順で多く, この10年間では, 中国人と <u>ベトナム人</u> の増加がめざましい。
16	地図	<u>コンボ紛争(1988～99)</u>	<u>コンボ紛争(1998～99)</u>
62	囲み	<u>1881年の来日後,</u>	<u>1882年の来日後,</u>
102	25	^{せきらんかん} <u>赤瀾会</u> が	^{せきらんかい} <u>赤瀾会</u> が
109	下囲み	議会で幣原はつぎのように演説した。我々は, 中国の「内政」には「関与すべき」ではなく, 中国の「合理的なる立場を無視するが如きなんらの行動を <u>採らむとするものでありまして</u> 」,	議会で幣原はつぎのように演説した。我々は, 中国の「内政」には「関与すべき」ではなく, 中国の「合理的なる立場を無視するが如きなんらの行動を」と <u>らうとするものではない</u> ,
128	28	^{てんしんたい} 女子挺身隊に	^{ていしんたい} 女子挺身隊に
136	左段下	<u>自然科学</u> ^{ほんだこうたろう} 本 <u>多</u> 光太郎	<u>自然科学</u> ^{ほんだこうたろう} 本 <u>多</u> 光太郎
180	グラフ		

訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
184	グラフ		
190	上写真	別紙 1-①参照	別紙 1-①参照
193	上図 グラフ	別紙 1-②参照	別紙 1-②参照
195	グラフ		
212	年表	<p>2017(ノ 29) 6 天皇の退位等に関する皇室典範特例法成立 改正組織犯罪処罰法成立(テロ等準備罪の新設)</p>	<p>2017(ノ 29) 6 天皇の退位等に関する皇室典範特例法成立 改正組織犯罪処罰法成立(テロ等準備罪の新設)</p> <p>2018(ノ 30) 6 改正民法成立(成人年齢を18歳に引き下げ)</p>
後見返し	図	別紙 2 参照	別紙 2 参照

①



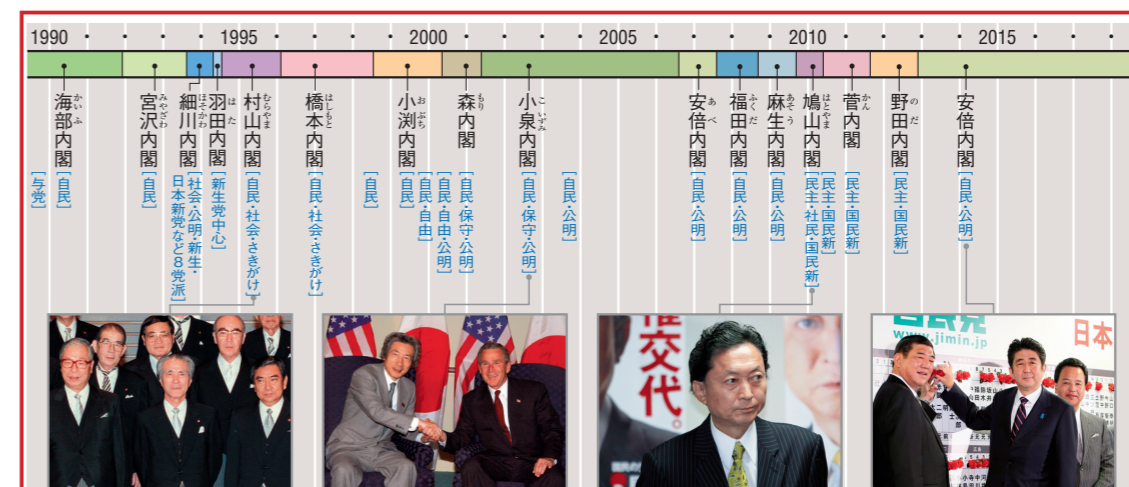
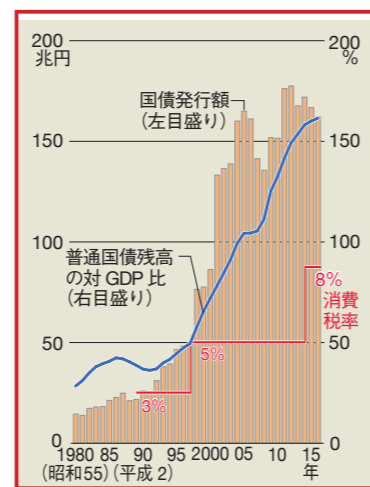
②



【内閣と与党の変遷】

閣はアフガニスタン攻撃やイラク戦争でアメリカに協力する一方、郵政事業の民営化など新自由主義的改革を本格的におし進めた。しかし、その結果、自民党の支持基盤を掘りくずしたばかりか、貧富の格差や都市と地方の格差を拡大したという批判がしだいに高まった。

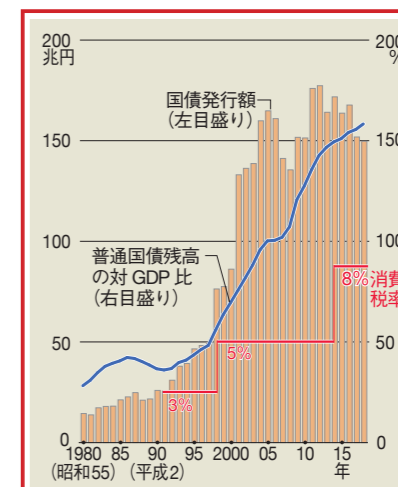
第1次安倍晋三内閣は、教育基本法の改正、防衛庁の省への昇格、憲法改正のための国民投票法の制定など、保守的な政策をとったが、2007年の参議院選挙で敗北して退陣した。その後も自民・公明両党を与党とする福田康夫内閣と麻生太郎内閣が続いたが、有権者の支持を回復できなかった。



【内閣と与党の変遷】

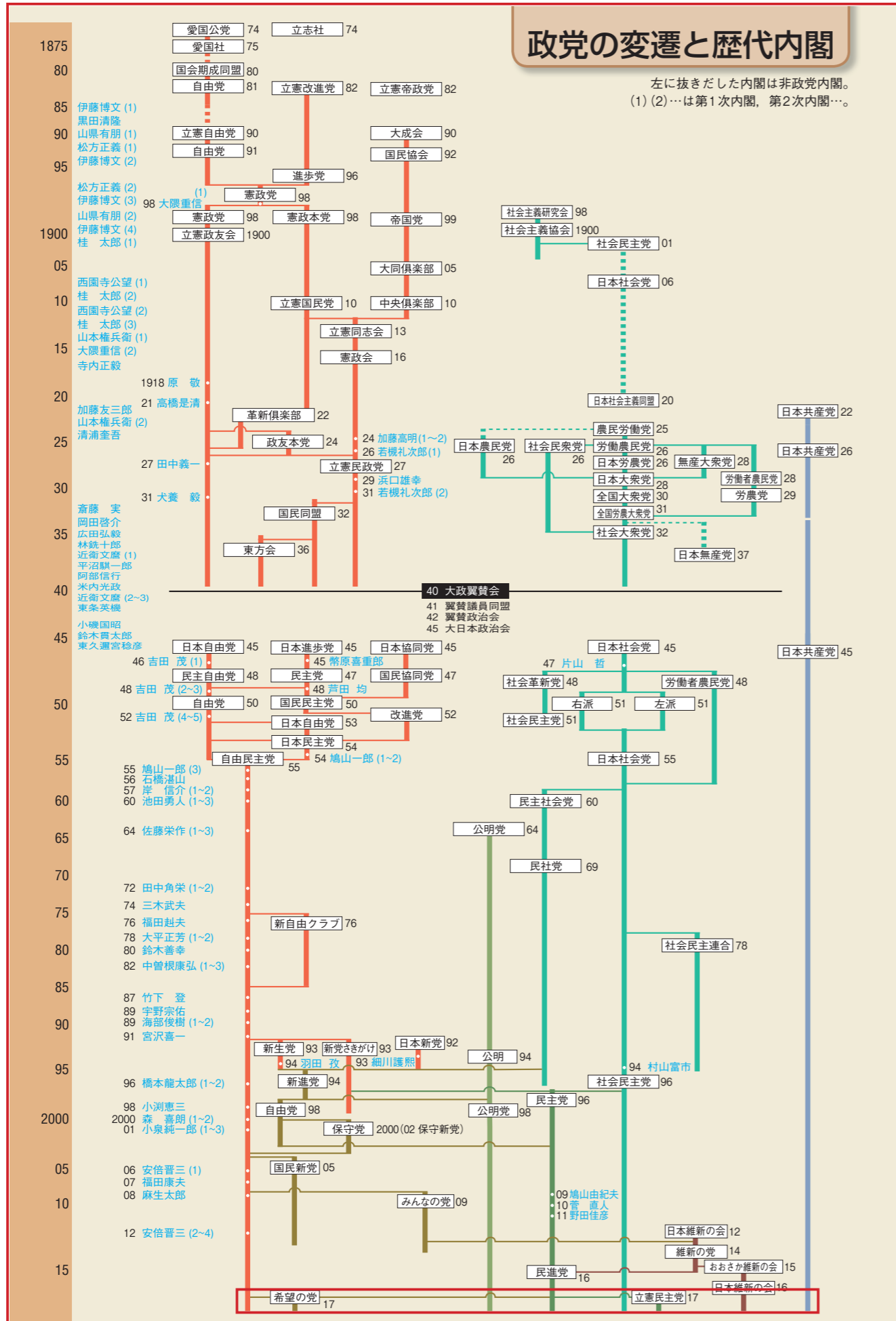
閣はアフガニスタン攻撃やイラク戦争でアメリカに協力する一方、郵政事業の民営化など新自由主義的改革を本格的におし進めた。しかし、その結果、自民党の支持基盤を掘りくずしたばかりか、貧富の格差や都市と地方の格差を拡大したという批判がしだいに高まった。

第1次安倍晋三内閣は、教育基本法の改正、防衛庁の省への昇格、憲法改正のための国民投票法の制定など、保守的な政策をとったが、2007年の参議院選挙で敗北して退陣した。その後も自民・公明両党を与党とする福田康夫内閣と麻生太郎内閣が続いたが、有権者の支持を回復できなかった。



政党の変遷と歴代内閣

左に抜きだした内閣は非政党内閣。
(1) (2)・・・は第1次内閣, 第2次内閣・・・



政党の変遷と歴代内閣

左に抜きだした内閣は非政党内閣。
(1) (2)・・・は第1次内閣, 第2次内閣・・・

